| 学校番号 | ３２４ |
|---|---|

# 平成３１年度　保健体育科

| 教科 | 体育(専門) | 科目 | スポーツ概論 | 単位数 | 2 | 年次 | 2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | な　し | | | | | | |
| 副教材等 | な　し | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・集団行動や各種目の中で、自己の能力に応じて基礎・基本的な運動技能・体力や筋力を高めよう。
・自他の運動を観察し、分析することで興味・関心を高め、運動の楽しさや喜び、達成感を一緒に味わおう。
・体育の授業を通して、運動をする・見る・支える・調べるといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。

2　学習の到達目標

スポーツについての総合的な理解を通して、その知識を運動の主体的、合理的計画的な実践に活用できるようにするとともに、生涯を通してスポーツの新興発展にかかわることができる資質や能力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断 | c:運動の技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。<br>健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。<br>結果や勝敗を受け入れ、自他の技能を客観的に判断できる。<br>公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。 | 知識を活用し、技能向上につなげる。<br>自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取組を工夫できる。<br>運動を継続したり、体力や技能向上をするための計画を考えることができる。<br>学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。 | 記録や技能向上に挑戦する。<br>運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。<br>仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。 | 運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。<br>スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。 |
| 評価方法 | 受講態度の観察<br>レポート 等 | 受講態度の観察<br>レポート 等 | 受講態度の観察<br>レポート 等 | 受講態度の観察<br>レポート 等 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | スポーツを知る | オリエンテーション<br>スポーツの歴史・文化的特徴と現代的特徴 | ○ | ○ | | ○ | a: 自ら進んでスポーツについて学習している。自主的に授業に取り組もうとしている。<br>b: 学習で得た成果を自ら応用・発展させ、実生活に生かせる。<br>d: スポーツの歴史、文化的特性、スポーツとの関わり方について理解している。 | 受講態度の観察<br>ノート<br>レポート |
| 2学期 | スポーツを生涯親しむ | 豊かなスポーツライフの設計 | ○ | ○ | ○ | ○ | a: 自ら進んで運動の楽しさや喜びを味わおうとする。健康や安全を確保して学習に主体的に取り組もうとする。公正・協力・責任・参画などの態度を身に付ける。<br>b:生涯にわたってスポーツを豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。<br>c: 仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。<br>d: スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 | 受講態度の観察<br>ノート<br>レポート<br>技能観察 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | スポーツに携わる | スポーツの指導法と安全<br><br>スポーツの運営及び管理 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:各種目の楽しさや喜びを味わうことができるように互いの違いや良さを認めあうこと、よい演技を讃えようとすること、マナーやルールを大切にしようとすることや自己責任を果たそうとするなど、健康や安全を確保して、自主的に取り組もうとしている。<br>b:生涯にわたって各種目を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。<br>c: 運動の合理的な実践を通して、種目特性に応じて勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現するための各領域の運動特性に応じた段階的な技能を身に付ける。仲間と連携・協力して各種目を楽しむ。<br>d: 運動の技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を理解している。 | 受講態度の観察<br>ノート<br>レポート<br>技能観察 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断
　　c:運動の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。